大腸がんについて

～知っておきたい大腸がんのこと～

外科・消化器外科
たなか　ひろのり
田中　宏典　医師

大腸がんは、肺がんとともに、近年急速に増えつつある疾患です。一昔と比べてみると食生活の欧米化が進んでいますし、飲酒、喫煙などの生活習慣も原因と考えられます。

その一方で、大腸がんは、早期発見できれば、内視鏡手術でお腹を切らずに切除し、完治させることも可能という特徴を持っています。また「大腸がん」と言っても大腸の中でどこにがんができたかによって、診断も治療法も変わります。

大腸がんの初期症状として、血便、便秘と下痢を交互に繰り返すなどがありますが、おなかの調子が悪くなるというのは、誰しも経験することですし、何か起こっても「大したことはない」と思ってしまいがちです。大腸がんの兆候を見逃さないためには、普段から自分の健康に気を遣い、何か異常を感じたらすぐに病院に行く習慣を付けることが大切です。

大腸がんを予防するためには、定期的な健康診断と自分自身での健康管理が不可欠です。大した事はないと思わず、小さな異常でも検診を受けるようにしましょう。

当院では治療ガイドラインに沿って大腸がん診療を行っており、積極的に腹腔鏡下手術を行っています。検診のご希望や症状があれば当科へ受診ください。